



ドローン・エアモビリティ特化型ファンド 「Drone Fund 2号」が 52 億円調達

～新たに投資家として

西部ガス、GMO インターネット、オリックス、日本郵政キャピタル、東京電力ベンチャーズ、ゼンリン、エン・ジャパン、エイベックスが参画。
世界最大のドローン・エアモビリティ特化型ファンドに～

ドローン・エアモビリティ特化型ファンドとして調達額 52 億円は世界最大規模
Drone Fund2 号は企業 25 社、個人投資家 13 名、計 38 先にご参画を頂き、2 号ファンドからの LP としては、小橋工業株式会社、株式会社みずほ銀行、大和証券グループ、マブチモーター創業家一家、KDDI 株式会社、西部ガス株式会社、GMO インターネット株式会社、オリックス株式会社などが参画
「ドローン前提社会」、「エアモビリティ社会」の実現に向けて投資を加速



2018年8月1日に設立された、Drone Fund 2号(正式名称:千葉道場ドローン部2号投資事業有限責任組合)は、「ドローン前提社会」や「エアモビリティ社会」の実現を目指し、ドローン関連のスタートアップに特化した投資ファンドです。

1号ファンドでは、2018年1月に総額約16億円にて資金調達を完了しており、22社のドローン関連のスタートアップに投資を実行しております。主に日本の技術力や独自アイデアを持つドローン・スタートア

アップ企業の設立直後から、シード・アーリーステージに対して積極的な投資を行ってきました。1号ファンドの投資先の1つである株式会社自律制御システム研究所(ACSL)は、2018年12月にドローン銘柄では世界初として、東証マザーズに上場を果たしました。

2号ファンドでは、農業やインフラ点検、物流などの産業分野と、新たに「エアモビリティ社会の実現」というテーマも加わり、空飛ぶ車の研究開発チームや海外投資に力を入れています。

2号ファンドでは、日本を代表する大企業が参画

今回、日本を代表する大企業がLPとして25社加わりました。2号ファンド最大のLPとして参画が決まった小橋工業は、投資先のアロネクスト社製品の商品化・量産化を主にご支援頂いており、アロネクストの「Next」シリーズの量産を年内に開始する見込みです。小橋工業は創業108年の歴史を誇る農業機械メーカーで、「平成までは大地を耕してきた時代。令和からは大空を耕し、大空に経済圏を創造する。」という強い意気込みのもと、農業分野で培った自社技術の新たな事業領域への応用を進めています。今後も、様々な分野で強みをもつLP各社と投資先との協業を通じたシナジーを創出することで、「ドローン前提社会」や「エアモビリティ社会」の早期実現を共に目指してまいります。



2号ファンドからのLP様

他エンジェル投資家様多数



































〇2号ファンドLP様

小橋工業株式会社、株式会社みずほ銀行、大和証券グループ、マブチモーター創業家一家、KDDI株式会社、西部ガス株式会社、GMOインターネット株式会社、オリックス株式会社、日本郵政キャピタル株式会社、株式会社電通、セガサミーホールディングス株式会社、東京電力ベンチャーズ株式会社、株式会社ゼンリン、エン・ジャパン株式会社、エイベックス株式会社、松竹株式会社、KSK Angel Fund(その他エンジェル投資家様多数)

○1号ファンドからの継続LP様

Mistletoe Venture Partners 株式会社、株式会社オークファン、株式会社 DG インキュベーション、日本アジアグループ株式会社、チャンネルベンチャーズ株式会社、株式会社 FFG ベンチャービジネスパートナーズ、株式会社リバネス(その他エンジェル投資家様多数)



1号ファンドからの継続LP様

他エンジェル投資家様多数












FFGベンチャービジネスパートナーズ



2号ファンドでは、7社に投資が完了。さらなる投資へ

Drone Fund2号は、すでに新規で7社に投資をしており、1号ファンドを加えると29社への投資を実行しております。投資先は、農業やインフラ点検、物流など、今後ドローン活用が期待される産業分野だけでなく、エアモビリティ分野など国内外問わず、投資を行っていきます。

<div style="text-align: center;">  Drone FundII 投資先一覧 </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  株式会社SkyDrive </div>  </div> <p style="font-size: small;">「空飛ぶ車」の研究開発で日本をリード 2020年東京五輪での飛行デモを目指す</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  DroneDeploy Inc. (アメリカ) </div>  </div> <p style="font-size: small;">世界最大級DaaS企業 自動飛行による地上測量や3Dモデル化</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  テトラ・アビエーション株式会社 </div>  </div> <p style="font-size: small;">世界的エア・モビリティコンテスト「GoFlyコンテスト」出場、フェーズ3進出</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  株式会社ナイルワークス </div>  </div> <p style="font-size: small;">農業用ドローンの開発、cm精度のドローンの完全自動飛行、生育診断サービスを行う</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  Griff Aviation (ノルウェー) </div>  </div> <p style="font-size: small;">圧倒的なパワーと高い品質を持つドローンの開発 最新の欧州UAS製造安全規制にも適合予定</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  Aerodyne Group(マレーシア) </div>  </div> <p style="font-size: small;">アジアNo1ドローン・ソリューションカンパニー 23カ国に展開し、圧倒的な飛行実績を有する</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  メトロウェザー株式会社 </div>  </div> <p style="font-size: small;">小型高性能ドップラーライダーの研究開発を行う京大発ベンチャー</p>

産業分野では、農業用ドローンを開発するナイルワークスや世界最大級 DaaS 企業である Drone Deploy、大型ドローンの研究開発を行う Griff Aviation、アジア No1 ドローン・ソリューションカンパニーである Aerodyne Group に投資を実行しました。エアモビリティ分野では、空飛ぶ車・エアモビリティの開発を行う SkyDrive やテトラ・アビエーションに投資を行っています。また、ドローン前提社会における周辺技術への投資も行っており、風況観測でドローンの安全運航を目指すメロウェザーにも投資を実行しています。今後も産業分野、エアモビリティ、海外投資を軸に投資を行っていきます。



<創業者、代表パートナー 千葉功太郎より>

今回、国内を代表する企業の皆さまに新規 LP としてご参画いただきとても嬉しく思います。2017 年に設立された Drone Fund は、1 号ファンドでは 22 社へ、2 号ファンドでは 7 社への投資を実行してきました。設立時から現在に至るまで、ドローンの市場環境はめまぐるしく変化をしています。法整備をはじめとして、農業や物流、インフラ点検などさまざまな分野で実証実験も多く実施され、今後はドローンを活用したビジネスへ展開するフェーズとなりつつあります。

Drone Fund では、有望なドローン企業への積極的な投資を行い、ドローン企業と投資家である大手企業のハブとなることでドローンビジネスの発展を促進していきたいと考えております。今後とも Drone Fund ファミリーをよろしくお願いいたします。

<共同創業者、代表パートナー 大前創希より>

今回の 2 号ファンドレイズでは、国内の名だたる企業の皆様から「ドローン産業を共に創生する」という強い共感と共に、投資を頂きました事を大変うれしく思うと同時に、責任の重さをとて感じております。

Drone Fund は、単にドローン関連スタートアップへの投資を実行するというだけに留まらず、ドローンが社会実装されるための法整備、またはドローンに衆目が集まるための情報発信、加えて既存の各産業とドローンをどのように繋げていくのか?というビジネス・ディベロップメントにも関わっていく組織として、これからもよりよい事業環境の創出と、投資先企業の成長にコミットしていきます。今後は国内のみならず、よりグローバルな視点で新規投資先への積極投資や既存投資先の成長機会創出に努めてまいります。

本プレスリリース内で使用されている全ての画像やロゴデータは下記よりダウンロードください。

https://www.dropbox.com/sh/7e49z5dfcmgqtz2/AABcxYE51pkC_1LmBhwDjfsxa?dl=0

【Drone Fund について】

略名称 : Drone Fund (ドローンファンド)
正式名称 : 千葉道場ドローン部 1号投資事業有限責任組合
 千葉道場ドローン部 2号投資事業有限責任組合
運営会社 : 鎌倉インベストメント株式会社、千葉功太郎
所在地 : 東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 6F
事業内容: ドローン、エアモビリティ関連への投資及び協業支援
ウェブサイト : <http://dronefund.vc>

本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先

「Drone Fund」広報担当 pr@dronefund.vc

プレスリリース内画像素材 https://www.dropbox.com/sh/7e49z5dfcmgqtz2/AABcxYE51pkC_1LmBhwDjfsxa?dl=0